

海外立地の理論と実態の最前線

日時 2023年12月14日(木) 13:30~17:00 (受付開始 13:00)

会場 福井県立大学地域経済研究所 1階 企業交流室

新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻、米中対立などにより、日本企業の海外立地を取り巻く環境は、大きく変わってきています。本セミナーでは、グローバルサプライチェーンに関する理論、関西企業のアジア立地、福井県企業の海外立地といった3つの講義と質疑を通じて、今後の海外立地について考えたいと思います。

■プログラム

第1講「グローバルプロダクションネットワーク理論と外資の受け入れ」

講師 宮町良広 (みやまち・よしひろ)

大分大学経済学部教授・地域経済研究センター長・高大接続教育室長。元副学長。

1960年、札幌市生まれ。名古屋大学大学院文学研究科博士課程満期退学。文部科学省在外研究員として英国マンチェスター大学(1992-93年)、米国ペンシルベニア州立大学(2001-02年)に留学。専門は経済地理学・地域経済論で、グローバルな視点から地域経済を研究。編著『未来をひらく地域学』(古今書院、近刊)『はじめての地域学』(ミネルヴァ書房)『九州地方(地理シリーズ 新・日本のすがた 第1巻)』(帝国書院)など。



第2講「日本企業のアジア立地の変遷について―関西企業の事例を中心に―」

講師 鈴木洋太郎 (すずき・ようたろう)

大阪公立大学大学院経営学研究科教授

1960年、東京都生まれ。九州大学大学院経済学研究科博士課程修了(博士(経済学))。大阪市立大学大学院経営学研究科教授を経て、2022年より現職。専門は国際産業立地論で、『多国籍企業の立地と世界経済』(大明堂)や『国際産業立地論への招待』(新評論)などで、日本企業のアジア立地戦略を研究。



第3講「福井県企業の海外立地動向と課題」

講師 松原 宏 (まつばら・ひろし)

福井県立大学地域経済研究所長・特命教授・東京大学名誉教授

1956年、神奈川県生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)。西南学院大学経済学部、東京大学大学院総合文化研究科教授を経て、2022年より現職。専門は経済地理学で、『産業集積地域の構造変化と立地政策』(東京大学出版会)や『新経済地理学概論』などで、多国籍企業の立地論や産業立地政策を研究。



■受講料 無料

ただし事前登録が必要です。下記URLもしくはQRコードへアクセスし、フォームを送信してください。

<https://forms.gle/jEPgqLnuATS2TqTn8>

■定員 30名 ※申し込み多数の場合は先着順とします。

【お問合わせ】福井県立大学 地域経済研究所事務局(担当 中島・板垣)

TEL.0776-61-6000 (内線 6104) Fax: 0776-61-6017

e-mail: keiken@fpu.ac.jp

